

## 5 児童教育科 3年次

		講 義 名	開講時期・単位数	
			前 期	後 期
短期大学との併修科目		同和保育	2	
		人権問題論	2	
		相談援助	2	
本校独自の科目	選 択 科 目	保育産業論	1	
		児童ケースワーク		1
		おもちゃ論		1
		レクリエーション	1	
		手話Ⅰ	1	
		手話Ⅱ		1
		ピアノⅤ	1	
		ピアノⅥ		1
		声楽Ⅲ		1
		絵本創作		1
		紙芝居		1
		創作うたあそび		1
		集団あそび		1
		子どもと物語		1
	保育士必修科目	実習研究Ⅲ	1	
	幼稚園必修科目	指導案演習	1	
		教育実習研究	1	
		キャリアデザインⅡ	1	
		クラスルーム	1	1
	実 習	保育実習Ⅰ		4
保育実習Ⅱ			2	
教育実習			4	
合 計 単 位 数			15	21
			36	

科 目	同和保育	講 師	水引 貴子
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 同和問題とは何か理解し、説明できる。</li> <li>・ 被差別部落での子どもたちが置かれている状況を知る。</li> <li>・ 子どもの人権について学び、実際の保育場面と関連付けられる。</li> <li>・ 様々な差別問題を通して、より良い保育に向けて自分の考えがまとめられる。</li> <li>・ グループワークを通して、他者と協力しながら自己を表現する力を育てる。</li> </ul>		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション</li> <li>2. 同和地区の保育の現状から（レポート指導）</li> <li>3. 保育としての教育（レポート指導）</li> <li>4. 民話から読み解く同和地区</li> <li>5. 同和問題の歴史</li> <li>6. 同和保育所における保育の読み取り</li> <li>7. 中間まとめ</li> <li>8. テスト対策</li> <li>9. レポート指導</li> <li>10. 子どもの権利</li> <li>11. 区別と差別を考える</li> <li>12. 子どもの人権に配慮した月案作成(1) グループワーク</li> <li>13. 子どもの人権に配慮した月案作成(2) グループワーク</li> <li>14. プレゼンテーション発表</li> <li>15. まとめ</li> </ol>		
教科書 及び 参考書	<b>教科書</b> ……岡田佐代子（2013）『保育という教育』奈良日日新聞社 <b>参考書</b> ……適宜紹介する		
評 価 の 方 法	出席（リアクションペーパー）、授業態度、芸大提出レポート、プレゼンテーション発表による総合評価		

科 目	人権問題論	講 師	安部 高太郎
授業目標	授業において提示される人権に関する知見をもとに、自分なりに「人権問題」について考え、それを表現する。		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 導入：「人権問題」って例えばどんなこと？</li> <li>2. 大阪芸術大学短期大学部通信教育部併修りレポートについての解説①</li> <li>3. 大阪芸術大学短期大学部通信教育部併修りレポートについての解説②</li> <li>4. 〈分ける〉ことが孕む問題及び効用①：「大人」と「子ども」について</li> <li>5. グループ発表に向けて：グループ分け及び発表テーマ決め・詳細説明・諸注意など【*必ず出席してほしい】</li> <li>6. 【グループごと】グループ発表準備①：発表に向けての資料収集</li> <li>7. 〈分ける〉ことが孕む問題及び効用②：「男性」と「女性」について</li> <li>8. 【グループごと】グループ発表準備②：資料収集及び整理</li> <li>9. グループ発表進捗状況確認とアドバイス①：発表資料作り</li> <li>10. グループ発表進捗状況確認とアドバイス②：発表資料完成</li> <li>11. 〈分かれ目〉を乗り越える可能性について：差別は「克服」されるべきものか？</li> <li>12. グループ発表①</li> <li>13. グループ発表②</li> <li>14. グループ発表③</li> <li>15. まとめに代えて：保育のなかの「人権問題」—我々が向き合う問題は何か？</li> </ol>		
教科書 及び 参考書	<b>教科書</b> ……【大阪芸大指定テキスト】神戸修（2004）『人権侵害と戦争正当化論』明石書店 <b>参考書</b> ……好井裕明（2007）『差別原論—〈わたし〉のなかの権力とつきあう』平凡社（平凡社新書）		
評 価 の 方 法	原則として、授業への参加状況ならびに小レポート、さらにグループ発表などから総合的に評価する。なお、詳細は初回の授業にて説明する。		



科 目	児童ケースワーク	講 師	蓑崎 浩史
授業目標	現代の社会状況や、子どもの発達を支える社会の仕組みについての理解を求めた上で、乳幼児期の子どもの問題について、保育者としてどのように関わっていくことができるのかを考え、他者の意見を聞きながら柔軟に対応できる姿勢を身につけていくことを目標とする。		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション ～児童ケースワークの進め方～</li> <li>2. 1つのケースについて考えてみる</li> <li>3. 問題の背景についての理解</li> <li>4. 施設保育者の専門性について考えてみる①</li> <li>5. 施設保育者の専門性について考えてみる②</li> <li>6. ケース対応を考える ①母子家庭</li> <li>7. ケース対応を考える ②障がいを持つ子ども（ダウン症候群）</li> <li>8. ケース対応を考える ③</li> <li>9. グループ研究課題の提示 グループ活動①</li> <li>10. グループ研究発表 まとめ</li> <li>11. グループ研究課題の提示 グループ活動②</li> <li>12. グループ研究発表 まとめ</li> <li>13. グループ研究課題の提示 グループ活動③</li> <li>14. グループ研究発表 まとめ</li> <li>15. まとめ</li> </ol>		
教科書 及び 参考書	<b>教科書</b> ……特に指定なし 授業中に適宜資料を配布する <b>参考書</b> ……特に指定なし		
評 価 の 方 法	出席状況、受講態度、グループ活動、ディスカッション、レポート等による総合評価		

科 目	おもちゃ論	講 師	なかむら しんいちろう
授業目標	<p>手作りおもちゃの制作を通して、おもちゃが子どもに与える成長や発達の特徴を学ぶ。身近な材料から素朴な手作りおもちゃを制作し完成させる。そして作り方、使用の仕方をレポートにまとめ発表する。実際に遊び活用法を身につける。さらに実践する際に役立つ指導方法を検討、プランをまとめ発表する。</p> <p>おもちゃに関する施設見学を実施予定。  *制作の進行状況を考慮し順序や内容を適宜変更する。</p>		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 前提講義：子ども時代に遊んだ玩具を振り返り、レポート作成。おもちゃの歴史。</li> <li>2. 「玩具」の意義。子どもにとって「おもちゃ」とは。レポート発表後、意見交換。</li> <li>3. 「手作りおもちゃ」とは何か？双六制作（マップとサイコロ）。ボードゲームとは。</li> <li>4. 双六遊び。ボードゲームの作り方、遊び方の解説書制作。</li> <li>5. 風車制作（自然環境とおもちゃ）。伝統玩具とは。</li> <li>6. 野外での風車遊び。風車の作り方と遊び方の解説書制作。</li> <li>7. ごっこ遊びのおもちゃ制作（折り紙による人形とドールハウス作り）。ままごと遊びとは。</li> <li>8. メモリーカード遊び。「ゲームのルール」とは何か？</li> <li>9. ブロックや君合わせ玩具、積み木遊び。知育玩具とは。発達段階とおもちゃの関係。</li> <li>10. ブロックと積み木の違い。遊び方の解説書制作。</li> <li>11. 音の出るおもちゃ制作（ガラガラ、太鼓、缶ぽっくり、ストロー笛など）</li> <li>12. 音の出るおもちゃで演奏の練習。楽器おもちゃの作り方、演奏の仕方の解説書制作。</li> <li>13. 様々な素材のコマ制作（ペットボトルのフタ、ドングリ、びゅんびゅんごまなど）</li> <li>14. 手作りおもちゃのまとめノート制作。</li> <li>15. タングラム（三角パズル）遊び。まとめノート提出。</li> </ol>		
教科書 及び 参考書	<b>教科書</b> ……特に指定なし <b>参考書</b> ……特に指定なし		
評 価 の 方 法	授業態度を重視。必要な用具・材料の準備、授業内での作品の提出及び完成度、学習意欲、制作に対する真摯な姿勢、適切な片付け、まとめノートの提出、遅刻早退出席数による総合評価		



科 目	手話Ⅱ	講 師	乙川 智子
授業目標	1. 手話の学習を通し、聴覚障害に関する理解を深める。 2. 手話を覚えて会話の楽しみを習得する。 3. 実際に覚えた手話で聴覚障害者との交流学习を体験し、コミュニケーション力を養う。 4. 聴覚障害に関する基礎知識を学び、またビデオ学習の中で不便さに気づき解決する為の方法を考察、意見交換等を行う。 5. まずは、体を、手を、頭を動かし楽しく勉強をしましょう！		
授 業 の 画	1. 〈技術〉前期の復習 1 家族、趣味 ※原則として手話Ⅰの履修者 2.                    "      2 住所、仕事 3.                    "      3 疑問文、時の表現等 4.                    短文練習 1 5.                    "      2 6.                    会話練習 1 テキストを活用して 7.                    "      2 テキストを活用して 8.                    "      3 テキストを活用して 9.                    長文練習 1 10.                   "      2 11. 自分で考えた文章の表現練習 12. 聴覚障害者との交流 13. ビデオの活用、意見交換等 14. 試験 15. 試験のふりかえり、まとめ		
教科書 及び 参考書	<b>教科書</b> ……『手にことばを 初級編』東京都聴覚障害者連盟  <b>参考書</b> ……特に指定なし		
評 価 の 方 法	受講態度、定期試験、レポート等による総合評価		

科 目	ピアノⅤ	講 師	国友 真知子・佐藤 季里 渡辺 容子
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ピアノの演奏技術の向上。</li> <li>・童謡のレパートリーを大きな声で歌いながら演奏できるようにする。</li> <li>・幼稚園実習に向けて課題曲や季節の歌の準備練習。</li> <li>・保育の現場で子どもと音楽表現の楽しさを共有できる力を養う。</li> </ul>		
授 業 の 画	1. 各学生のレベル確認と課題の決定 2. 個人レッスン 3.                    " 4.                    " 5.                    "                    : 幼稚園のオリエンテーションで配布される曲がある学生はまずその練習に入りましょう。 6.                    " 7.                    " 8.                    " 9.                    " 10.                   " 11.                   " 12.                   " 13.                   " 14.                   "                   : 実技試験の徹底練習 15. 実技試験		
教科書 及び 参考書	<b>教科書</b> ……前年に使用したもの及び担当講師の指定するもの  <b>参考書</b> ……特に指定なし		
評 価 の 方 法	受講態度、出席状況、実技試験による総合評価		



科 目	ピアノⅥ	講 師	杉浦 千里・渡辺 容子
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ピアノの演奏技術の向上（バイエル終了～他の楽曲へ）。</li> <li>・子どものうたを大きな声で、楽しく弾き歌いできるようにする。</li> <li>・実習・採用試験に向けての準備・レパートリー作り。</li> <li>・保育現場で子どもたちと生き生きと音楽表現を楽しめる力をつける。</li> </ul>		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 各学生のレベルの把握と課題決定</li> <li>2. 個人レッスン</li> <li>3.        〃</li> <li>4.        〃</li> <li>5.        〃</li> <li>6.        〃</li> <li>7.        〃</li> <li>8.        〃</li> <li>9.        〃</li> <li>10.       〃</li> <li>11.       〃</li> <li>12.       〃</li> <li>13.       〃</li> <li>14.       〃                   : 実技試験発表曲の徹底練習</li> <li>15. 実技試験</li> </ol>		
教科書 及び 参考書	<b>教科書</b> …… 1、2年次に使用したもの及び担当講師の指定するもの <b>参考書</b> …… 『始めよう！弾き歌い』		
評 価 の 方 法	受講態度、出席状況、実技試験による総合評価		

科 目	声楽Ⅲ	講 師	福田 由子
授業目標	<p>一・二年次で学んで来た事を基に、こどもの育成において、歌が、いかに大切なものかを、学生自身が体験として自覚出来るよう、練習してゆきます。</p>		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 歌のための</li> <li>2.     ↓     ストレッチと呼吸法</li> <li>3.     ↓     ヴォイストレーニング</li> <li>4.</li> <li>5.</li> <li>6.</li> <li>7.</li> <li>8.</li> <li>9.</li> <li>10.</li> <li>11.</li> <li>12.</li> <li>13.</li> <li>14.</li> <li>15. ↓</li> </ol>	<p>こどもの歌と学生自身の年齢に即した歌 ソルフェージュ、輪唱、合唱を含む</p> <p>↓</p> <p>中間テストの課題曲練習 中間テスト テストについての所見とレベルアップへのアドバイス</p> <p>↓</p> <p>期末テスト課題曲練習 期末テスト テストについての所見とレベルアップへのアドバイス</p>	
教科書 及び 参考書	<b>教科書</b> …… 『ポケットいっぱいのおうた』教育芸術社 <b>参考書</b> …… 一年次に使用したもの		
評 価 の 方 法	実技試験と受講態度、出席による総合評価		





科 目	創作うたあそび	講 師	菅野 清子
授業目標	1 歌うことに興味を持ち、音楽を通して、子ども達とのコミュニケーションツールに必要な要素であることを学習する。 2 あそびうたには、毎日の日常生活や環境、自然現象などが大きく関係していることを理解する。 3 日頃から、小さなことに気づいたり、子ども達を観察するなど、歌のヒントになる出来事を探すことができるようになる。 4 歌に合った表現力を研究することができるようになる。		
授 業 の 画	1. はじめまして こんにちは！歌ってあいさつ オリエンテーション 2. うた遊びの体験 どうなうた遊びを知っている？ 3. うた遊びの特徴を調べよう（テーマ、リズム、歌詞、季節…） 4. 子ども達に人気のうた遊びを、替え歌で歌ってみよう。 5. オノマトペを取り入れて歌ってみよう。 6. 実際にあるうたに、表現を付けて歌ってみよう。 7. 創作スキル① 歌詞を考える。 8. 創作スキル② メロディやリズムを考える。 9. 創作スキル③ 身体表現や踊りを取り入れる。 10. 創作スキル④ うたの内容に合わせた、声の使い方を研究しよう。声の3原則 11. 創作活動① グループワーク 12. 創作活動② グループワーク 13. 創作活動③ グループワーク 14. グループ発表会 15. まとめとふりかえり		
教科書 及び 参考書	教科書……特に使用しない 参考書……『NHKおかあさんといっしょ テキスト』他 随時紹介		
評 価 の 方 法	受講態度30% 創作研究レポート30% 発表40%		

科 目	集団あそび	講 師	菊池 一英
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集団あそびの意義とねらいを学びます。</li> <li>・あそびが成立する基本的条件をいくつか学びます。</li> <li>・「仲間」「時間」「空間」が子ども達の生活にどのように環境構成するのかを学びます。</li> <li>・実際に身体を動かして、集団あそびの「指導法」の数々を学びます。</li> <li>・リズム・ダンスあそびの指導方法を学びます。</li> </ul>		
授 業 の 画	1. 保育現場における、集団あそびの意義とねらい 2. ふれあいあそび（手あそびから、スキンシップへ） 3. 大きい集団を小さい集団に移す、あそびの数々 4. 手あそび、スキンシップあそびを自分でアレンジしてみる 5. 野外での、探索あそびに出かけよう 6. まねっこあそび（子ども達の身近に感じられる物や動物になりきって遊びます） 7. 鬼あそびの原型の数々を屋外で学びます 8. マットを使った集団あそび（マットと言えば前転という考え方でなく遊びます） 9. 乳幼児向けのダンスを学びます。子どもへの楽しい指導法とは？ 10. 子ども達のよく知っている曲に自分で考えて、振り付けをしてみます 11. ルールのある集団（ゲーム）あそびの指導法とは？ 12. 手あそびの振り返りをします（ミニテスト） 13. 今迄、習ったダンスの振り返りをします（ミニテスト）		
教科書 及び 参考書	教科書……『仲間づくりのためのおもしろゲームあそび』メイト 参考書……授業時にその都度、紹介します		
評 価 の 方 法	出席率、レポート内容、受講態度（動きやすい服装etc）で総合評価します		

科 目	子どもと物語	講 師	草野 明子
授業目標	<p>子どもにとって物語は、はじめて出会う「絵本」からはじまり、幼年童話へ発展します。子どもの想像世界を豊かにする物語を、児童文学史に沿って論じます。学生は、作品を選び、その特色や背景などを考察してまとめて、発表し話し合います。それをレポートにまとめ提出します。保育の場で子どもと共に楽しみながら、活用できる物語を選ぶ力を養います。子どもの視点を考慮して、作品を鑑賞し、おもしろい物語とは、よい物語とはを考えます。</p>		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 児童文学とは 子どもと物語</li> <li>2. 児童文学の原型としての昔話</li> <li>3. 昔話から子どもの本へ</li> <li>4. 日本の絵本、絵雑誌、童画の誕生</li> <li>5. 小川未明・浜田広介</li> <li>6. 千葉県三</li> <li>7. 新美南吉</li> <li>8. 松谷みよこ</li> <li>9. 古田足日</li> <li>10. いぬいとみこ</li> <li>11. 神沢利子</li> <li>12. 寺村輝夫</li> <li>13. 中川李枝子</li> <li>14. 林明子</li> <li>15. 安房直子</li> </ol>		
教科書 及び 参考書	<p><b>教科書</b>……特に指定しないが、図書室を利用して、多くの作品を読む</p> <p><b>参考書</b>……特に指定なし</p>		
評 価 の 方 法	発表とレポート、授業態度を総合して評価		

科 目	実習研究Ⅲ	講 師	鈴木 八重子
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育所実習Ⅰを振り返り、評価・反省に基づき、課題を理解する。</li> <li>・ 保育所実習Ⅱに向けて、目的意識・問題意識を明らかにする。</li> <li>・ 保育所、保育士の役割について理解し、実践する。</li> <li>・ 指導案を立案し実践し評価を行う。</li> </ul>		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 保育所実習Ⅰを振り返る①</li> <li>2. 保育所実習Ⅰを振り返る②</li> <li>3. 実習日誌の分析</li> <li>4. 部分、責任実習の実際</li> <li>5. 日案作成①</li> <li>6. 日案作成②</li> <li>7. 保育教材の制作</li> <li>8. 保育教材の発表</li> <li>9. 責任実習指導案の作成と展開、反省①</li> <li>10. 責任実習指導案の作成と展開、反省②</li> <li>11. 保育実習Ⅱの目標を立てる</li> <li>12. 実習に伴う書類の作成、事務手続きの確認</li> <li>13. 責任実習に向けての準備①</li> <li>14. 責任実習に向けての準備②</li> <li>15. 試験 ※随時、漢字テスト、保育者としての常識などを問う小テストを実施する</li> </ol>		
教科書 及び 参考書	<p><b>教科書</b>……『教育・保育・施設実習の手引き』建帛社</p> <p><b>参考書</b>……授業内で配布したプリントはまとめておく</p>		
評 価 の 方 法	出席状況（無断欠席不可）、授業態度、小テスト、提出物、発表、試験等による総合評価		

科 目	指導案演習	講 師	中西 和子
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幼稚園教育実習に向け、指導計画作成についての知識を習得する。</li> <li>・ 指導計画の事例を検討し、作成の実際について学ぶ。</li> <li>・ 資料の収集方法、活用方法を学習する。</li> <li>・ 指導計画を立案し、実施し、理解を深める。</li> <li>・ 指導計画実施を振り返り、評価・反省し、実践力を高める。</li> </ul>		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ガイダンス</li> <li>2. 部分実習指導計画案の事例検討と立案（記述の基本・ねらい・配慮）</li> <li>3. グループによる部分実習指導計画の立案（プログラム・活動別）</li> <li>4. 部分実習指導計画案の作成と演習(1) 単一テーマ</li> <li>5. 部分実習指導計画案の作成と演習(2) 複数テーマ</li> <li>6. 責任実習指導計画案の事例検討と立案（デイリープログラムの理解）</li> <li>7. グループによる責任実習指導計画の立案</li> <li>8. 責任実習指導計画案の作成(1) デイリープログラムを踏まえて</li> <li>9. 責任実習指導計画案の作成(2) 指導のねらい・環境設定・援助を考慮して</li> <li>10. 指導計画の模擬実践</li> <li>11. 指導計画・模擬実践の振り返り・相互評価・改善</li> <li>12. 教育実習時に実践した指導の振り返り(1)</li> <li>13. 教育実習時に実践した指導の振り返り(2)</li> <li>14. 指導計画の比較研究(1)</li> <li>15. 指導計画の比較研究(2)</li> </ol>		
教科書 及び 参考書	<b>教科書</b> ……『指導計画の作成と保育の展開』フレーベル館  <b>参考書</b> ……特に指定なし		
評価の 方 法	出席状況、受講態度、提出物、発表、試験等による総合評価		

科 目	教育実習研究	講 師	中西 和子
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幼稚園教育実習に対する事前学習として、実習目標を明確にする。</li> <li>・ 実習生としての自覚・心構えを修得する。</li> <li>・ 幼稚園の実際の理解を進め、記録方法を学ぶ。</li> <li>・ 各授業での学習結果を実践の場で活用できるよう、総合的な力を養成する。</li> <li>・ 事後学習として、実習を振り返り、幼稚園教諭としての自覚を高める。</li> </ul>		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ガイダンス</li> <li>2. 幼稚園教育実習の意義と目的</li> <li>3. 幼稚園の生活</li> <li>4. 実習課題・研究テーマの設定</li> <li>5. オリエンテーションについて</li> <li>6. 教育実習日誌の書き方演習(1) 観察記録の基本学習</li> <li>7. 教育実習日誌の書き方演習(2) 環境設定・保育者のねらい・配慮の理解</li> <li>8. 保育実技演習(1) 手遊び・絵本・紙芝居を中心として</li> <li>9. 保育実技演習(2) ゲーム・製作活動を中心として</li> <li>10. 実習振り返り討議</li> <li>11. 保育観察実践研究</li> <li>12. 保育観察記録研究</li> <li>13. 保育参加実践研究</li> <li>14. 研究発表</li> <li>15. 実習報告会</li> </ol>		
教科書 及び 参考書	<b>教科書</b> ……『指導と評価に生かす記録』チャイルド本社  <b>参考書</b> ……特に指定なし		
評価の 方 法	出席状況（無断欠席不可）、受講態度、提出物、発表、試験等による総合評価		

科 目	キャリアデザインⅡ	講 師	井守 知義
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就職活動に向けて、基本的なスキルを身に着ける</li> <li>・これまでの学びと実習経験から就職先（保育所、施設等）の絞り込みをする</li> <li>・公務員試験対策を万全にする</li> </ul>		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 進路指導のガイダンス。作文「学校生活を振り返って」</li> <li>2. 自己PRについて。キャリアカードの更新。就職希望調査。</li> <li>3. 就職ガイダンス①（就職に向けて、キャリアデザインセンターの利活用、ビジネスマナー等）</li> <li>4. 就職ガイダンス②（公共機関の利活用、就職フェアについて、求人票の見方等）</li> <li>5. キャリアモデルから学ぶ（卒業生を招いての懇談会）</li> <li>6. 人事採用担当者から学ぶ企業研究①</li> <li>7. 人事採用担当者から学ぶ企業研究②</li> <li>8. 人事採用担当者から学ぶ企業研究③</li> <li>9. 面接試験に向けての心構え（入退出、自己紹介、服装、面接等）</li> <li>10. 自己アピールワークシート作成</li> <li>11. 模擬面接①</li> <li>12. 模擬面接②</li> <li>13. 模擬面接③</li> <li>14. 模擬面接④</li> <li>15. 模擬面接⑤</li> </ol>		
教科書 及び 参考書	<b>教科書</b> ……特に指定なし  <b>参考書</b> ……特に指定なし		
評 価 の 方 法	出席率、提出物、受講態度により評価します		

科 目	クラスルーム（前期） （後期）	講 師	阿久津 撰
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園教諭免許・保育士資格取得に向けた併修学習を促進、支援する</li> <li>・学業上の問題や悩みを個別にサポートする</li> </ul>		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. &lt;前期&gt;</li> <li>2. &lt;後期&gt;</li> <li>3. 共通</li> <li>4.</li> <li>5.</li> <li>6.</li> <li>7.</li> <li>8. 併修学習に必要な諸手続き、レポート、試験を行う</li> <li>9.</li> <li>10.</li> <li>11.</li> <li>12.</li> <li>13.</li> <li>14.</li> <li>15.</li> </ol>		
教科書 及び 参考書	<b>教科書</b> ……特に指定なし  <b>参考書</b> ……特に指定なし		
評 価 の 方 法	出欠状況、学校生活態度を総合的に評価する		